TODA 産業レポート ―2023年1月戸田市景気動向調査―

●調査概要

・実施期間　2023年1月13日（金）～1月31日（火）

・調査対象　市内事業者700社

・調査方法　WEB調査　（対象者にアンケート回答用のQRコードが記載された文書を郵送し、WEBで回答）

・回答状況　有効回答数　375　回答率　53.6%

天気マークと指標

雨	曇/雨	曇	晴/雲	晴
▲100～▲50	▲50～▲20	▲20～20	20～50	50～100

●調査結果のまとめ

◆戸田市内企業の景況感について

	天気		景況感DI	概要
全体	前期	曇/雨	▲ 35.39	**市内中小企業の景況感は、前期に比べ改善傾向が見られたが、見通しについては、厳しい状況である。生産高・売上高は改善したが、仕入価格の上昇により、利益は依然厳しい状況である。** ・前回から3.75ポイント改善している。見通しについては5.83ポイント減少と悪化傾向が見られる。
	現状	曇/雨	▲ 31.64	
	先行き	曇/雨	▲ 37.47	

※ 前期：R4.4～9月 、 現状：R4.10～3月 、 先行き：R5.4～9月

※分析についてはDI（景気動向指数：Diffusion Index）を使用

◆全体について

・「生産高・売上高」については、前回から12.25ポイント増加と改善したが、「原材料・仕入価格」は前回から7.08ポイント増加の77.9と高い水準となっており、利益は芳しくない状況。価格転嫁ができているか否かは業種によって状況が異なっていることがうかがえる。
・一部の業種において、人材不足の状況が見られる。
【特別調査】
・現状直面している経営課題としては、「収益性の向上」が一番多く、次に「人材の強化」が多かった。
・「インボイス制度への対応状況」について尋ねたところ、「すでに申請済」が69.4%、「未申請だが3/31までに申請予定」が14.6%と合わせて84%の事業者が期日までに適格請求書発行事業者の準備をしている状況であったが、業種によって差が見られた。

●業種別

業種	天気		景況感DI	概要
建設業	前期	曇/雨	▲ 22.58	・景況感、売上高については改善傾向が見られるが、経常利益については改善の幅が小さい。 ・原材料・仕入価格については高い水準にあり、製品価格は上昇傾向が見られ、価格転嫁せざるを得ない状況がうかがえる。 ・雇用人員は前回から17.6ポイント減少の▲50.9となっており、労働時間でもプラスになっていることから人員不足が深刻になっている状況がうかがえる。 ・直面する経営課題でも、「収益性の向上」と「人材の強化」が多かった。 ・インボイス制度について、89.5%が期日までに申請すると回答した。
	現状	曇	▲ 19.30	
	先行き	曇/雨	▲ 28.07	
製造業	前期	雨	▲ 52.27	・景況感、売上高、経常利益について若干の改善傾向が見られる。 ・原材料・仕入価格については95.71と前回よりも上がっており、他の業種に比べ非常に高かった。（飲食業に次ぐ高さ） ・製品価格については前回より7.37ポイント下がっており、価格転嫁がうまく出来ていない状況がうかがえる。 ・直面する経営課題では「収益性の向上」が多く、次に「人材の強化」が多かった。 ・インボイス制度について、92.8%が期日までに申請すると回答した。
	現状	曇/雨	▲ 42.86	
	先行き	曇/雨	▲ 45.59	
卸売業/小売業	前期	曇/雨	▲ 40.91	・景況感、売上高、経常利益について、卸売業では前回から大幅に改善傾向が見られた。一方、小売業では前回から若干の悪化傾向が見られ、影響が川下へ移っていることが考えられる。 ・原材料・仕入価格については高い水準である。製品価格は上昇傾向が見られ、価格転嫁せざるを得ない状況がうかがえる。 ・直面する経営課題では、「販売力の強化」と「収益性の向上」が多かった。 ・インボイス制度について、88.7%が期日までに申請すると回答した。
	現状	曇/雨	▲ 33.96	
	先行き	曇/雨	▲ 37.74	
飲食業	前期	雨	▲ 75.00	・景況感、売上高については改善傾向が見られるが、経常利益については改善の幅が小さい。 ・原材料・仕入価格については前回から最高値の100が続いており非常に厳しい状況である。商品価格は前期からは若干下がっているが、見通しは上がっており、価格転嫁せざるを得ない状況がうかがえる。 ・雇用人員DI▲66.7と他の業種に比べて高く、人材不足の状況が深刻であることがうかがえる。 ・直面する経営課題では、「販売力の強化」と「収益性の向上」が多かった。 ・インボイス制度について、買手側が多いこともあり、期日までに申請すると回答したのは33.3%と低めであった。
	現状	雨	▲ 55.56	
	先行き	雨	▲ 77.78	
不動産業	前期	曇/雨	▲ 31.03	・本市では不動産業（管理・賃貸業）が全産業の構造に占める割合が県平均が約6%であるのに対し、約15%と高いという特色があり、本調査でも不動産業は全回答の11.2%を占めている。（Reasas・経済センサス2016） ・景況感、売上高、経常利益については改善傾向が見られ、他の業種に比べて景況感は悪くない。 ・直面する経営課題では、「収益性の向上」が一番多く、次いで「事業承継」が多かった。これは、他の業種に比べて多く特徴的であった。 ・インボイス制度について、期日までに申請すると回答したのは62.8%である。
	現状	曇	▲ 19.05	
	先行き	曇/雨	▲ 28.57	
サービス業	前期	曇/雨	▲ 31.82	・景況感、売上高については現状、見通し共に悪化傾向が見られ、経常利益については若干改善しているが、見通しは厳しい。 ・原材料・仕入価格については上昇傾向が見られるが、製品価格はほぼ横ばいで価格転嫁がうまく出来ていない状況がうかがえる。 ・直面する経営課題では「収益性の向上」が多く、次に「人材の強化」が多かった。 ・インボイス制度について、期日までに申請すると回答したのは76.1%である。
	現状	曇/雨	▲ 39.71	
	先行き	曇/雨	▲ 45.59	
運輸・通信業	前期	曇/雨	▲ 41.67	・景況感、売上高については大幅な改善、経常利益も改善傾向が見られ、他の業種に比べて景況感は悪くない。 ・原材料・仕入価格については73.91と高い水準だが、他の一部の業種に比べると若干低く、国の施策の効果が出ていることがうかがえる。製品価格は上昇傾向が見られるが、見通しについては横ばいである。 ・雇用人員は飲食業、金融・保険業に次ぐ▲54.17となっており人材不足が深刻な状況がうかがえる。 ・直面する経営課題でも、「人材の強化」が一番多く、次いで「収益性の向上」が多かった。 ・インボイス制度については、すべての事業者（100%）が期日までに申請すると回答した。
	現状	曇	▲ 16.67	
	先行き	曇	▲ 16.67	
その他	前期	曇	▲ 12.90	・景況感、売上高、経常利益については悪化傾向が見られ、見通しについてもほぼ横ばいである。 ・原材料・仕入価格については上昇傾向が見られる。製品価格についても上昇傾向が見られ、価格転嫁せざるを得ない状況がうかがえる。 ・その他の非製造業に含まれている金融・保険業では雇用人員DIで▲66.7となっており人材不足が深刻な状況がうかがえる。 ・直面する経営課題では「収益性の向上」が多く、次に「人材の強化」が多かった。 ・インボイス制度について、期日までに申請すると回答したのは54.0%である。
	現状	曇/雨	▲ 30.00	
	先行き	曇/雨	▲ 36.00	

［発行］令和5年2月　戸田市 環境経済部 経済戦略室　戸田市上戸田1－18－1 TEL：048-441-1800（内線374）